

## はじめに

この問題集は、「入試現代文へのアクセス基本編」専用のワークブックです。本書を用いることで、「入試現代文へのアクセス基本編」の**効果的な復習ができる**ように、さまざまな工夫がしてあります。しかもそれだけでなく、「入試現代文へのアクセス基本編」には収録されていなかった新しいオリジナル問題に取り組みこともできます。

『入試現代文へのアクセス』シリーズは、刊行以来とても高い評価をいただきてきましたが、そうした中で、多くの受験生から、**効果的に復習をする**にはどうすればよいのかといった質問も寄せられました。そんな声に応えるべく作られたのが、この『アクセス復習プレミアムノート基本編』なのです。

この問題集は、『入試現代文へのアクセス基本編』と並行させて、あるいはそれを終わらせてから使うようにしてください。そうすることで、学習効果もより大きなものになるでしょう。

## 本書の特徴 ＊

**Brush Up** には、復習問題を8題収録。これらは、「入試現代文へのアクセス基本編」の中からとくに重要と思われる8題をピックアップし、その既出の文章に別の設問を付けたものです。この問題を解くことで、より深い読解とより豊かな知識・教養の獲得が期待できます。

**Follow Up** には、応用問題を4題収録。これらは、「入試現代文へのアクセス基本編」には収録されていなかった、新たなオリジナル問題です。この問題を解くことによって、読解力がどれくらい定着したか、確認することができます。

● **「知識を広げる」** は、入試に必要な教養や語彙力、国語常識などを養成するための設問。**「読解を深める」** は、より高度な読解力を養成するための設問です。

● **「知識へのアクセス」** は、知識を学ぶ際に心がけるべき注意点は。あとから確認しやすいよう「解答・解説編」の巻末に一覧表を付けました。また、「入試現代文へのアクセス基本編」にあった「読解へのアクセス」と「正解へのアクセス」も、一覧表を再録しました。

● 「入試現代文へのアクセス基本編」にはなかった本文要約、あるいはそれに準ずる問題を追加。要約の練習を通じて、より深く本文を理解することが可能になりました。

● 〈勉強の仕方〉への不安を感じている受験生のために、その解消の一助となるべく、入試現代文への取り組み方などについて述べた**コラム**も収録しました。

# 目次

はじめに……………2  
本書の特徴……………3

●「ブラッシュアップ」の取り組み方……………5

「機械の心・動物の心」西垣通……………6

「イギリスの訓え」山本雅男……………12

「マナーリズムのすすめ」丘沢静也……………18

「安全学」村上陽一郎……………24

「子ども観の近代」河原和枝……………30

「仮説の文学」安部公房……………36

「二十一世紀の資本主義論」岩井克人……………40

「子規からの手紙」如月小春……………44



●「フォローアップ」の取り組み方……………51

「身体の復帰」高階秀爾……………52

「日本の天文学」中山茂……………58

「社会契約論」重田園江……………66

「居坐り猫」島尾敏雄……………74

コラム1 「集中力を高める」……………11

コラム2 「問題集はていねいに取り組もう」……………17

コラム3 「読解力の養成には「聞き上手になる」ことが大切」……………23

コラム4 「答案は人が読むものだということを忘れずに」……………29

読解へのアクセス一覧……………82

「入試現代文へのアクセス基本編」の中からとくに重要と思われる8題をピックアップし、その既出の文章に別の設問を付与しました。

●〈ブラッシュアップ〉の取り組み方

1 本文を読んで内容を確認し、設問を解く。

いちど読んだことのある文章でも、あらためて読み直してみましょう。「入試現代文へのアクセス基本編」の「本文の解説」を使って、本文の論理構造や流れ、趣旨などを確認してください。

2 本書の「設問の解説」を読みながら、解答をチェックする。

とくに「読解を深める」では、正解か不正解かという結果だけを見るのではなく、解答に至る筋道が正しかったかを確認しましょう。また「知識を広げる」では、派生的な知識などについての解説があれば、その部分もしっかり読んでおくといでしょう。

3 しばらく時間をおいてから、復習する。

とくに「知識を広げる」では、最初に解いたときに正解できなかった問題をチェックしておきましょう。それが自分の知識として身につくようになるまで、何度も繰り返し確認することが大切です。

なお、設問についている★印は難易度の目安で、★が多くなるほど難しくなっています。★★★はかなり手問のかかる問題なので、どうしても解けないときには、(設問の解説)をよく読んで、解答を書き写してみるだけでもよいでしょう。



「入試現代文へのアクセス基本編」には収録されていない、**新しいオリジナル問題4題**です。

### ●「フォローアップ」の取り組み方

#### 1 本文を読んで内容を確認し、設問を解く。

まずは解説に頼らず、自分の力で問題を解いてみましょう。時間のことあまり気にせず、じっくりと問題に取り組むことが大切です。一通り本文を読んでも内容がよくわからないという場合は、「本文の解説」を読んでみましょう。

#### 2 「本文の解説」を読み、自分の読みをチェックする。

本文がしっかり読めていたかどうかを確認しましょう。

#### 3 本書の「設問の解説」を読みながら、解答をチェックする。

これ以降はブラッシュアップへの取り組み方と同じです。「読解を深める」では、正解か不正解かという結果だけを見るのではなく、解答に至る筋道が正しかったかを確認。また「知識を広げる」では、派生的な知識などについての解説もしっかり読んでおきましょう。

#### 4 しばらく時間をおいてから、復習する。

とくに「知識を広げる」では、最初に解いたときに正解できなかった問題をチェックするなどして、それが自分の知識として身につくようになるまで、何度も繰り返し確認しましょう。

（設問の★印は、「Brush Up」と同様、難易を表しています）

